

INFORMATION Book

中央公民館
図書室からの
お知らせです

ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

今月新しく 入りました。

※ 10月の新刊は、1日(金)からの貸出となります。

📖 一般の本

- ・うらんぼんの夜 (著=川瀬七緒)
- ・本心 (著=平野 啓一郎)
- ・硝子の塔の殺人 (著=知念 実希人)

📖 子どもの本

- ・のりもの いないいないばあ!!
(著=インゲラ・アリアニウス)
- ・2ひきのジャッカル
(再話=愛甲恵子)
- ・だんだん だんだん
(作・絵=たけがみ たえ)

中でもこの本が **オススメ** です。

いつものBarで、失恋の謎解きを

著=大石 大

31歳、独身の綾は過去の恋愛で、ことごとく理不尽なフラレ方をしてきた。そんな綾が行きつけのバーでママのみひろ相手に過去の失恋話をしていたところ、カウンターの隅で飲む初老の男性から声を掛けられる。“センセイ”とみひろが呼ぶその男性は、フラれた当時の綾の行動や相手男性の言動から「失恋したのは別の理由がある」と語り出し……?



モグラのモーとグーとラーゴ 作・絵=みやにしたつや

おるすばんをたのまれたモグラのモーとグーとラーゴ。でも、いちばん下のラーゴはおかあさんに会いたくて泣きだしてしまいます。3びきは、おかあさんをさがしに出発。あなからひよいっとでると、へんてこなところにばかりでてしまい……。くりかえしが楽しい絵本。

図書室からの **お知らせ**

図書室読書まつりはお休みします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、10月に予定していた「読書まつり(お話の会)」は中止します。

「救急車が来なくなる日」というショッキングな題名だが、医療崩壊と再生の為に、医療と国民は何が出来るのか?そして、私たち患者がまさかの時に備えて救急隊に必要な情報を残しておくというのも大切である。救急車を呼べば病院へ行つて助けてもらえるのではなく、自分1人にかかる時間を短縮し、もっと救える生命に救急車を回せる工夫をして欲しい、とある。

救急医療危機的状況の中、本の後半に、福岡県の救急救命率が最も高い理由がのべられているが、それがとても嬉しい。

産婦人科医といえは、患者さんは女性です。女性だからこそ同じ経験をしてわかり合える部分と、医師界という男性社会の中、人生を開拓しポジティブに生きて来た事、そして、今はベストでなくてもベターな状態で十分と良い塩梅を考えている雅子先生。その年代に合わせて変化を受け入れ、上手にこなしていく、運動と食生活を考えて過こしています。そして、読者へのメッセージとして、あなただからこそ切り開ける道がきっとあり、あなたがこれからの日々を、あなたらしく過ごせる事を願っています。とおっしゃられています。

最

近のニュースで救急車を見ない日はない。救急車は、国民皆保険によって、

著

者の堀口雅子先生は御年91歳ですが現役婦人科医として健在で、月に2回程診察もしているという事に驚かされます。「おばあちゃんの知恵袋」ってありますが、人生の先輩の女性達には、生活の中でことわざとかお料理など、教えられる事がたくさんあります。

救急車が来なくなる日



自分をもっと大切に



広がる本だな

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介いたします。今月の紹介者は高辻光代さんです。

健康や各種健診
についての
お知らせです



いきいき
健康
だより

総合福祉センター保健棟 ☎42局8812番

INFORMATION Health

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況などによっては、事業が変更・中止となる場合があります。

総合健診（特定健診） （各種がん検診）のお知らせ

生活習慣病予防のためにも年に1度は必ず健診を受け、健康づくりに取り組みましょう。

● 集団健診（検診）日程

とき	ところ
11月7日(日)、8日(月)、9日(火)	総合福祉センター
令和4年1月23日(日)、24日(月)	

● **受付時間** 午前8時30分から10時30分まで。混雑緩和のため受付時間を20分ごとに区切って案内しています。健診の案内票をご覧ください。

● **申込方法** 申込書を送付しますので、電話でご連絡ください。また、申込書が自宅に届いている人は、必要事項を記入して返送してください。申込書は、ご希望の健診日の1か月前までに返送してください。

● **健(検)診内容** 各種がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん）、結核検診、特定健診、基本健診、肝炎ウイルス検診

高齢者インフルエンザ予防接種

10月からインフルエンザの予防接種が始まります。インフルエンザが本格的に流行する前の10月から12月中旬までに予防接種を受けましょう。

● **接種期間** 令和3年10月1日(金)から令和4年3月31日(木)まで(12月までに接種することが望ましい)

● **対象者** ①65歳以上の人②60歳以上65歳未満で身体障害者手帳1級程度の障がいがある人

● **接種費用** 1,300円。なお、上記の対象者で生活保護世帯の人は接種料金が無料になります。

● **接種できる医療機関** 福岡県内の指定医療機関
※事前に予約が必要です。

男性の料理教室

みんなで楽しく料理をしましょう。身近な材料で作れる簡単なメニューです。

● **対象者** 男性

● **とき** 10月29日(金) 午前10時から

● **ところ** 総合福祉センター保健棟

● **参加費** 300円(材料費)

● **持ってくるもの** エプロン、三角巾

● **申込期限** 10月21日(木)

乳幼児健診・相談

10月の乳幼児健診は次のとおりです。該当者には事前に通知をしています。内容をご確認ください。

● **とき** 健診の内容によって異なりますので、詳細は通知(案内)書をご確認ください。

● **ところ** 総合福祉センター保健棟

● **内容** 身体測定・問診・小児科医診察・育児相談・栄養相談など

※お子さんのことで相談がある人は、随時個別に対応しますので、気軽にお問い合わせください。

健診	とき	対象児
4か月健診	10月14日(木)	令和3年5月18日から 令和3年6月16日生まれ
1歳半健診	10月7日(木)	令和2年3月10日から 令和2年4月7日生まれ
3歳健診		平成30年9月10日から 平成30年10月7日生まれ

※7、12か月健診は該当者に個別に通知しています。

いのちへの優しさとおもいやり ～10月は臓器移植普及推進月間です～

臓器移植とは、病気や事故によって臓器が機能しなくなった場合に、他者の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療のことです。

健康な家族からの肺・肝臓・腎臓などの部分提供による生体移植と、亡くなられた人(脳死後または心停止後)からの臓器移植による移植があります。移植できる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、脾臓、小腸及び眼球(角膜)です。

もしものとき、誰かのいのちを救うことができるかもしれません。

わたしたち一人ひとりが、臓器提供について考え、家族や大切な人と話し合い、自分の臓器提供について、「提供する」「提供しない」どちらかの意思を表示しておくことが大切です。

● **問い合わせ** (公社)日本臓器移植ネットワークのフリーダイヤル ☎(0120)78局1069番または(公財)福岡県メディカルセンター ☎(092)432局5577番まで

